



これは「徒らな」天使が作った家のお話。

00 天使のはなしあい

ひとは、合理的で便利な社会で暮らしている。

駅ずかみにて、簡単ならぬと謳われるし、

どこかへ行かなくても、オンラインの世界でなんでもできるようになった。

合理的でなんのをなくしていくと、社会はいつのまにか、飼育で分りやすいものばかり。

現代社会の中で、目を当てられなくなった「余白」「非合理」「あんどくまい」...

人々は、そんな「徒ら」の能力にちっとも気づいてはいない。

01 クレーの天使

パウハウスの画家、パウ・クレーによって生まれた「徒ら」な天使たち。

泣いている天使、おませな天使、おすっぱい天使...

ある日、谷川俊太郎の言葉を借りた天使たちは、徒らな家をつくることにした。

“徒らな天使の家”

ちょっと不親切な、へんてこな、徒らな場所。

今からお伝えするのは、家が生まれるまでと、そこに散れる「あなた」のこと。

02 天使の紹介

天使というよりむしろ鳥(mehr Vogel als Engel)

天使というよりむしろ鳥(mehr Vogel als Engel)

天使というよりむしろ鳥(mehr Vogel als Engel)

おませな天使(abkhager Engel)

おませな天使(abkhager Engel)

おませな天使(abkhager Engel)

忘れっぽい天使(Vergesslicher Engel)

忘れっぽい天使(Vergesslicher Engel)

忘れっぽい天使(Vergesslicher Engel)

鈴をつけた天使(Schellen-Engel)

鈴をつけた天使(Schellen-Engel)

鈴をつけた天使(Schellen-Engel)

泣いている天使(es weint)

泣いている天使(es weint)

泣いている天使(es weint)

03 天使のはなしあい

ある日、6人の天使は集まって、家のモデルを決めた。

上に登るように、でるでる上、まわるように、ちょっとずつながりをおかせるふきぬける。

「ふたつからせんがらあうりのはどうだろう」

「わたしの居場所を、べつ居場所にも伸ばしてあげる」

03 天使のはなしあい

6人の天使たちは、それぞれ言葉を絵くように、階段の上に空間をついていった。

言葉の流れるとともに、スラブの面々が空間をかたちづくっていく。

05 平面図

6人の天使によって作られた平面図のようす

GL+14,000

GL+12,000

GL+10,000

GL+8,000

GL+6,000

GL+4,000

GL+2,000

GL+0,000

GL-2,000

GL-4,000

GL-6,000

GL-8,000

GL-10,000

GL-12,000

GL-14,000

06 徒らな家に暮らすあなた

こうして生まれた「徒らな天使の家」に暮らすあなた。

あなたは徒らな空間に何を感じ、何を思うのでしょうか？

わがままな寂しがりなあなた

気持ちの切り替えが苦手なあなた

口下手だけど、想いを伝えたいあなた

自由すぎるあなた

06 徒らな家に暮らすあなた

こうして生まれた「徒らな天使の家」に暮らすあなた。

あなたは徒らな空間に何を感じ、何を思うのでしょうか？

わがままな寂しがりなあなた

気持ちの切り替えが苦手なあなた

口下手だけど、想いを伝えたいあなた

自由すぎるあなた